

好きなものに囲まれながら、少しだけ丁寧な毎日を



暮らし上手の旅とおみやげ

KURASHIJOUZU NO TABI TO OMIYAGE

食べた、買った、
出会った。

藤本健さんの器と料理を訪れる旅
暮らしたくなる糸島案内
美味しい波佐見焼きを求めて
旅のおともになつたものが選ぶもの





青森と秋田の両県にまたがる十和田湖。空を映し込む鏡のような波穏やかな美しい景色が広がる



data

暮らしのクラフト ゆずりは

青森県十和田市大字奥瀬字十和田湖畔休屋 486

TEL：0176-75-2290

営業時間：10:00～17:00

定休日：無休（11月中旬～4月下旬頃は冬季休業）

www.yuzuriha.jp

青森県・十和田市

冬には出会えない東北の手仕事

「ゆずりは」で選ぶ一生モノ

作り手である職人の想いを伝え続けて29年。

「ゆずりは」で東北の伝統の技に触れながら

一生モノと出合う旅を体験しよう。

青森県の八戸駅からバスに揺られること約3時間、北の景勝地として知られる十和田湖へ辿り着く。その十和田湖に突き出た中山半島の付け根に、東北の春が到来する5月から雪が舞い始める11月中旬までの期間のみ人々を迎え入れる店がある。オーナーの田中陽子さんが平成元年にオープンし、東北の手仕事を今に伝え続けている「暮らしのクラフトゆずりは」だ。

十和田湖と向き合うように佇む店の扉の奥で出合うのは、田中さんの審美眼で選ばれた現代の暮らしに寄り添う東北の手仕事の数々。いずれも「厳しい気候風土のもと、自然の素材を手に、祈るように生み出されてき

た職人たちの知恵と技が生きた東北の手仕事を後世へと残していきたい」という想いを胸に、職人のもとを一軒一軒訪ね歩くことから始め、信頼を築きながら集めたものだ。今ではつくり手の魂を使い手へ伝える存在として、伝統を受け継ぐオリジナル製品も提案しながら、東北の手仕事の魅力を広めている。

細かく編まれた竹の編み目、刺し子の美しい模様に触れた指の先に、素材と向き合い、ひたむきに手を動かす職人の姿が浮かび上がる。十和田湖までの長い旅路の果てに出合うゆずりはで過ごす時間は、忘れがたい旅の記憶となり、再びここへ戻りたいと心を落ち着かなくさせる。

Y U Z U R I H A



右) 東北の手仕事をセンスよくディスプレイした木の温もりを伝える店内。左) 鉄瓶や洋鍋、フライパンなど美しい佇まいの南部鉄器が多数ラインナップ

